

イタリアンライグラス  
早生品種  
いもち病抵抗性

# はやまき 18

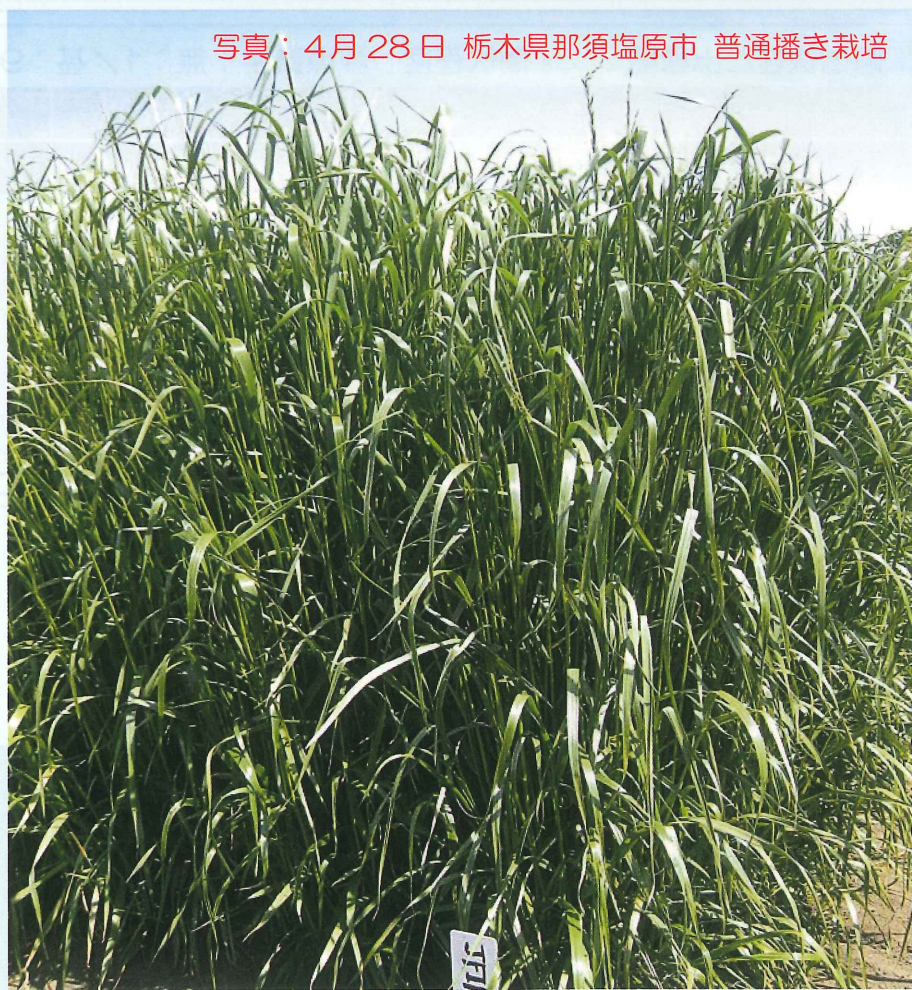
**いもち病に強く**  
**早播き から**  
**普通播き に適す**

現地実証栽培を  
各地で行いました。

「収量多く」  
「乾物多収」  
「倒れに強い」

- 栽培地域は東北南部～九州・沖縄まで適応性は広い。
- 畑地の早播きは夏雑草の対策も大切です。

写真：4月28日 栃木県那須塩原市 普通播き栽培



イタリアンライグラスいもち病

## 温暖化で「いもち病」の発病も増加

いもち病の感染適温は25℃前後で、平均気温20℃になると発病が減少する。  
早播き年内収穫は品種の選択が重要です。  
注意：普通種（コモン）はいもち病に極弱です。

場所：熊本県合志市  
民間優良品種

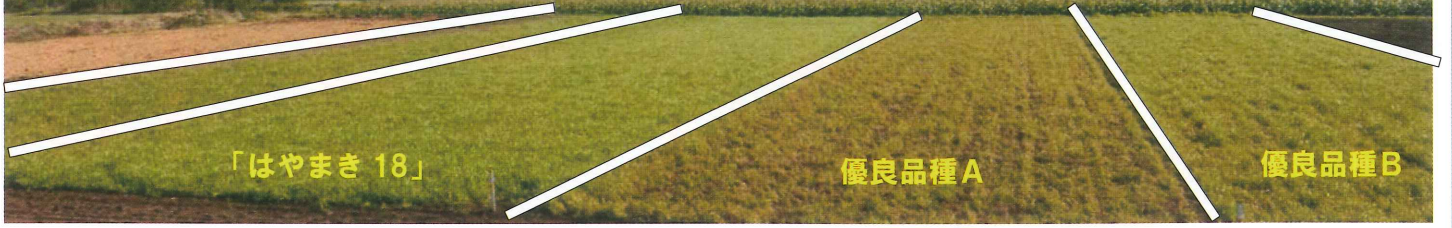
播種日：平成28年9月16日  
「はやまき18」

写真撮影：平成28年11月4日  
民間優良品種 公的優良品種





いもち病発病 品種間差 熊本県合志市 9月16日播種 11月4日写真撮影

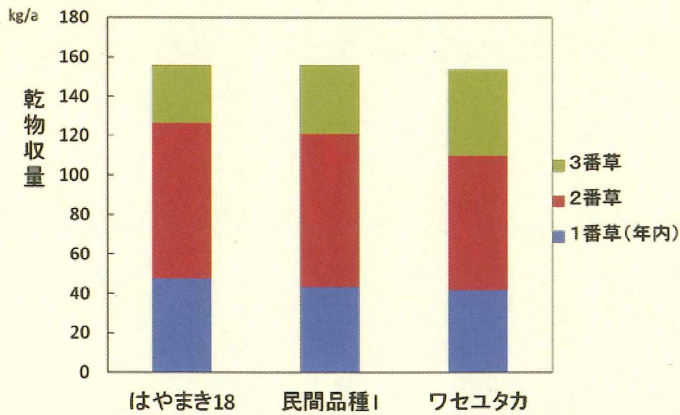


耐倒伏性と出穂期

・倒伏程度 評点数字：無：1／甚：9

	熊本		栃木 1	栃木 2	栃木 3	
	倒伏程度	出穂期	倒伏程度	倒伏程度	倒伏程度	出穂期
はやまき18	3	3月31日	3	3	1	4月23日
民間品種 I	7	4月3日	8	3	3	4月24日
ワセアオバ			6	5	5	4月23日
ワセユタカ	8	4月4日				
調査年	2013	2013	2013	2014	2015	2015

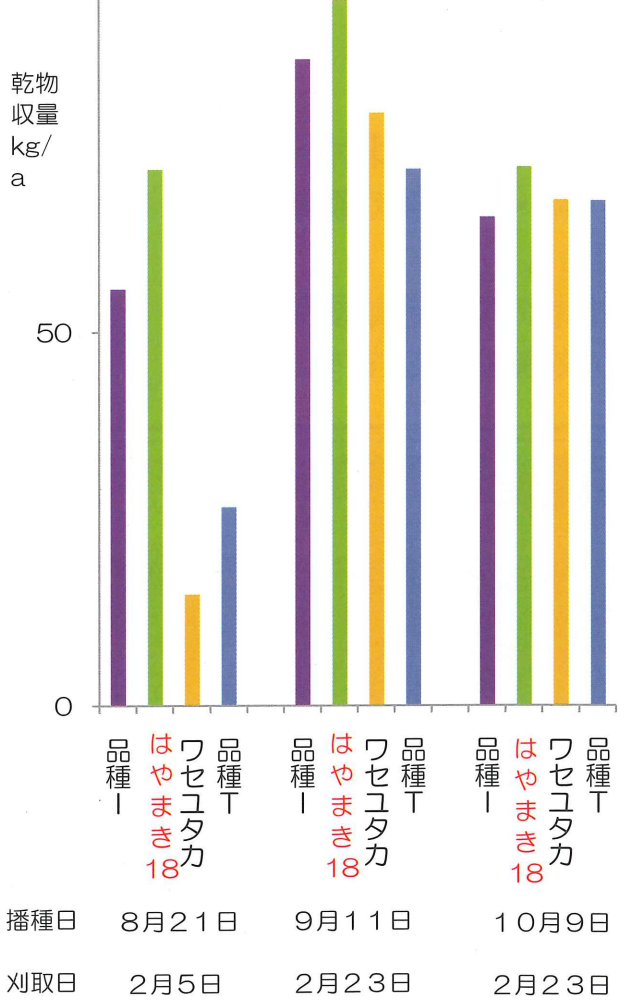
収量性 早播き：熊本県9月中旬播種



鹿児島県畜産試験場 早播き「いもち病発病試験」  
8月下旬播種区 写真：平成26.10.7.



鹿児島県畜産試験場 平成25年～平成26年



栽培地域：東北南部～九州・沖縄（積雪の多い地帯は除く）★積雪地帯は「ナガハヒカリ」が最適  
 播種量：・普通播きは2～3kg/10a ・早播きと晩播きは3～4kg/10a  
 ・早播き年内収穫のえん麦混播⇒「はやまき18」3～4kg+えん麦3～5kg/10a  
 育成機関：一般社団法人日本草地畜産種子協会 ★晩播きは「きららワセ」が最適